

企業概要

- 社名：株式会社ウッドスタイル（島根県）
http://www.wood-style.com/
- 従業員数：10人 ■資本金：2,158万円 ■売上高：1億70百万円
- 事業内容：家具・装備品製造業 ■知的財産：特許2件、意匠2件、商標2件



相談のきっかけ

竹の平坦化新技術を家具から建材への事業展開

当社の技術で平坦化した竹を使い、喜多俊之氏がデザインした椅子を世界最大級の家具見本市「ミラノサローネ 2017」に出品したことで、平坦化した孟宗竹が世界的に脚光を浴び始めている。一方、孟宗竹は、その伐採に管理費用がかかることから放置され、土壌の保持力が低下して土砂崩れなどの原因となっている。そこで、当社の平坦化技術を応用して、家具用に留まることなく、建材用にも孟宗竹の利用分野を拡大できればと考えた。

竹の平坦化技術について知財と事業とを融合した戦略の支援

通常、竹を半柱状にし、円弧側から押圧して平坦化した場合、割れが生じ強度が低下するが、平坦化しても竹の強度が保てる当社独自の平坦化技術を建材にも応用したい。そして、それらの平坦化技術の特許とノウハウで保護し、知財と事業を融合した事業戦略が構築できれば、資源の有効利用(SDGs；持続可能な開発目標)に繋がり、更に、国内に留まらず、海外にも展開できると考えた。

課題と支援の内容

注)知的財産戦略アドバイザーは、INPITの専門人材です。

課題	支援のポイントと活用した専門家
知財による製品の保護	<div>・新たな用途である建材用に適した 平坦化技術の確立と、権利化に向けた対応を支援する。</div> <div>・特許での保護困難な部分については、ノウハウの抽出／リスト化と、ノウハウ自体の管理手法の確立に向けた支援を行なう。</div> <div>弁理士/ 知財戦略AD^{注)}/ 知財経営専門家</div>
事業戦略の明確化	<div>・平坦化した竹の魅力を「建材」に発揮できるかの検討を進める。</div> <div>・デザイナー喜多俊之氏の認知度を利用した「注文家具」⇒「建材」への事業展開の検討を進める。</div> <div>知財経営専門家</div>
国内外事業戦略	<div>・放置された「孟宗竹」による土砂崩れ等の被害は、国内外において発生しており、その対策の1つとして、竹の平坦化利用は重要である。それを踏まえて事業戦略策定の支援を行う。</div> <div>弁理士/ 弁護士/ 知財経営専門家</div>

リーダー：押久保 政彦（弁理士、ブランド専門家）
支援担当者：福代 功一（島根県知財総合支援窓口）

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財戦略	<div>・建材用に適した平坦化条件を見出し、平坦化後の竹の特徴的な構造について特許出願し、当社技術の権利保護を強化できた。</div> <div>・新たな平坦化技術について、ノウハウ管理手法を学ぶことにより、権利化する部分とノウハウ化する部分の切り分けができた。</div>
事業戦略	<div>・国内外展示会で、ブランド力のある注文家具の椅子と併用展示し、「建材」の認知度の向上を図ることを進めることができた。</div> <div>・海外進出する際のリスク管理の1つとして、売買契約等を締結する必要性も理解できた。</div>

社長の支援成果についてのコメント

「竹」の平坦化技術を知財（ノウハウ含む）で手当てができたことで、「家具」だけでなく、「建材」も製品保護可能となり、国内に留まることなく、海外の展開基盤が整ったと感じている。支援して頂いた後の引き合い等を考慮すると、売り上げの向上にも期待できる。